

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成30年度)

施設 の 名 称	御崎野営場
指 定 管 理 者 の 名 称	唐桑町観光協会
施 設 所 管 部 課 (室)	経済商工観光部観光課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成23年 4 月 ~ 平成26年 3 月	指定管理者	北日本ビル清掃株式会社	
平成26年 4 月 ~ 平成29年 3 月	指定管理者	北日本ビル清掃株式会社	
平成29年 4 月 ~ 令和4年 3 月	指定管理者	唐桑町観光協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	唐桑町観光協会
	所在地	気仙沼市唐桑町崎浜4番地3
指 定 期 間	平成29年 4 月 1 日 ~ 令和4年 3 月 31 日 (5 年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	御崎野営場	
所 在 地	気仙沼市唐桑町崎浜地内	
設 置 年 月	昭和48年7月	
根 拠 条 例 等	野営場条例	
設 置 目 的	県民が野外生活を通じて、自然に親しみ、心身の健康の増進に寄与することを目的	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	約7,000㎡(市有地)
	構 造	
内 容	管理棟, 共同炊事場, サニタリー棟, コンセルリンク等	
開 館 (所) 日	無休	
開 館 (所) 時 間	受付時間 8:00~21:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	○野営場施設の管理運営, 維持管理 ○施設の使用許可申請の受付及び許可並びに使用料の徴収業務 ○機械設備の操作・日常点検業務 ○施設の亡失等の届出受理業務及び報告業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
開館(所)日数	365 日	365 日	365 日	100.0%	100.0%
延べ利用者数	669 人	669 人	756 人	113.0%	113.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
野営場	669 人	669 人	756 人	113.0%	113.0%
	人	人	人		
	人	人	人		
	人	人	人		
	人	人	人		
合 計	669 人	669 人	756 人	113.0%	113.0%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
県指定管理料	2,150	2,150	2,150	100.0%	100.0%
利用料金収入	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	-	-
収入計 (a)	2,150	2,150	2,150	100.0%	100.0%

(2) 支出

人件費	1,168	1,108	1,175	100.6%	106.0%
施設管理費	782	693	746	95.4%	107.6%
事業運営費	200	142	132	66.0%	93.0%
その他	0	0	0	-	-
支出計 (b)	2,150	1,943	2,053	95.5%	105.7%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	207	97	-	46.9%
前期繰越収支差額	207	0	207	100.0%	-
次期繰越収支差額	207	207	304	146.9%	146.9%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成30年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
	評価	評価	評価	評価		
①管理運営体制	指定管理者基本協定に基づき、施設を常に清潔かつ安全に保つとともに、施設の目的に沿って安定した管理運営に努めるため、職員及び管理人間の情報共有を図った他、使用料の適切な処理を行うため、複数人でのチェックを行った。		施設の利用者数は、H29年度から13%増加した。利用者からの苦情やトラブルもなく、円滑な施設管理を行えた。		毎月の使用料徴収状況報告について適切に報告されているほか、使用料の減免についても、疑問がある場合は県に相談するなど適切に事務処理され、効率かつ安定した管理運営体制で業務を行っている。	
人員体制	正規 1人	非正規 3人				
②施設・設備の維持管理業務の実施	年間の管理計画を策定し、ほぼ計画どおり実施した。		月毎の管理計画に基づき、管理棟・シャワー棟・トイレ棟の定期清掃、浄化槽の点検、除草作業を実施した。		定期的な施設清掃や設備点検及び草刈を行うことにより、安全かつ快適なサービス提供を行っている。	
③運営業務(ソフト事業等)の実施	地元新聞等への広告掲載を行った。		限られた委託費の中で、新聞広告(年2回)と気仙沼ガイドマップ2018への掲載を行い、利用者の確保に努めた。		限られた委託費のなかで、地元自治体や観光関係団体等とも連携を図り、利用者の確保につなげている。	
④自主事業の実施	特になし					
⑤利用者サービスの向上	4月～9月までの繁忙期には、現地管理人との連携を密にし、利用者が快適に過ごしていただくために、集中的に除草作業を行い環境サービスに努め満足度向上を図った。		年に20日間の除草作業を実施し利用者のサービスに努めた。また、管理人には、年度当初と各月毎に接客態度の向上と利用者本位のサービスを行うよう指導している。		業務員への指導教育も行われており、利用者の側に立った対応を行い、特に苦情やトラブルもなくサービス提供に努められている。	
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	特に苦情等はないが、施設設備については、従来型のキャンプ場であり、他のキャンプ場と比較した場合、古さは否めない状況にある。		H9年頃の大規模リニューアルから約21年が経過し、施設設備(トイレ・水道設備・看板)の老朽化が目立ち始めていることから、今後は、計画的な修繕計画が必要になってきている。特に、インバウンド対応としてトイレの洋式化と看板の多言語化が急務である。		県の財政状況から、施設の大規模な再整備などは困難な状況にあるものの、清潔で快適な施設管理に努め、県への状況報告なども適切に行われている。	
⑦安全対策	野営場自体に危険な箇所はないが、松の大木に囲まれた場所であり、強風後の見廻り(枝折れ・倒木等)を実施している。なお、近年松喰い虫による松の枯れ木が多くあり枝折れ等に特に注意している。		随時、利用者に対し注意を促すとともに、管理者として万全の注意を払っている。特に、事故やトラブル等は発生していないが、利用者の安全確保の観点から、倒木等の恐れのある松について早期の伐採をお願いしたい。		見回り監視も適時行われており、事故等は発生しておらず、安全対策について考慮されている。	
⑧県民の平等利用	県民が誰でも快適に利用できる施設として、平等利用に努めている。		誰でも気軽に利用できるように適切な対応を心がけている。		他施設の管理運営ノウハウもあり、適切な対応を行っている。	

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報保護条例に基づき、個人の権利利益を侵害することがないように適切に事務処理を行っている。	条例及び基本協定書に基づき、個人情報の取り扱いに十分に注意し、適切な管理運営を行った。	A	協定書等に基づき、個人情報の処理については、十分な注意が払われている。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり	H30年度は、宮城オルレ気仙沼唐桑コースのオープンやみちのく潮風トレイルの開通に伴って前年度比約13%(87名)の増となった。県内391名(市内221名・市外170名)・県外361名・海外4名の合計756名の利用者であった。	A	県や地元自治体等と連携するなどし、2期連続で10%以上の増加実績となっている。トレッキングコンテンツとの融合などにより更なる利用者増を期待している。	S
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	適切な経費管理をおこない、収支均衡に努めた。なお、使用料については期限内納入に努めた。	A	適切な経費管理を行い、経費節減に努めながら、委託費の適切な執行を行い、収支も均衡がとれた運営を行っている。また、利用料金についても、期限内に納付されている。	A
⑫その他の取組	特になし。				
総合評価		特に事故やトラブル等もなく、利用者へのサービス向上に努めることができた。概ね適切に管理運営できたものと思われる。H30年度も利用者の増が図られたが、今後も、利用者の増に努めていきたい。	A	利用者数及び利用料収入も、東日本大震災前のH21年度を上回ったH29年度実績よりも更に増加している。また、事故やトラブル・苦情等もなく、安全かつ効果的に管理運営が行われている。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	老朽化が進む施設設備について今後どのような修繕(再整備)を行うか。特に、トイレの洋式化・水道設備と看板の修繕が望まれる。また、御崎野営場は傾斜の多い施設のため TENT を張る場所が限られていることから、その整備が必要である。松喰い虫の被害による倒木等の恐れのある松の早期の伐採撤去。	御崎野営場については、観光客だけでなく、地元の幼稚園や小学生も利用することから、地域にとって必要な施設である。ただし、運営に当たっては、設置した県よりも、地元の気仙沼市へ移管し、周辺観光エリア等を一体的に運営した方が、効果的かつ効率的であると考え。財政状況等を見極めながら、利用者の利便性向上のための設備改修及び安全確保整備を行っていく必要がある。